

公安委員会の開催概要

公安委員会は、令和5年8月31日（木）に開催された。

1 決裁事項

なし

2 報告事項

(1) 令和5年7月中の苦情の取扱いについて

県警察から、令和5年7月中の苦情の取扱いに関する報告があった。

令和5年7月中の苦情受理件数は2件（公安委員会宛て1件、警察宛て1件）で、捜査、職務質問に関するものであるとのことであった。

委員から、「警察に対しては様々な苦情や意見があるが、丁寧に吸い上げることが大事である。」との発言があった。

(2) 熱中症対策を含めた体調管理の徹底について

県警察から、熱中症対策を含めた体調管理の徹底に関する報告があった。

9月に入っても近年、例を見ない暑さが見込まれることから、適切な水分等の補給、猛暑日を避けた行事の実施等の熱中症対策や県内で急増している新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じて、職員の体調管理を徹底するよう、8月30日、警務部長が各所属長に対して通知したとのことであった。

委員から、「警察官は、日々のトレーニングを積んで体力に自信があると思うが、その自信が体調管理の落とし穴にならないようにしていただきたい。」との発言があった。

(3) 警察署窓口業務の受付時間変更（試行運用）について

県警察から、警察署窓口業務の受付時間変更（試行運用）に関する報告があった。

ワークライフバランスを推進し、働きやすい職場環境を整備するため、10月2日から、警察署窓口業務の受付時間を午前9時から午後4時までに変更するもので、報道関係者に対する広報、県警察ホームページへの掲載等により、広く県民へ周知を図るとのことであった。

委員から、「先行して開始している県警察から、開始直後にどのような問題があったかを把握して、県民が困らないように進めていただきたい。」との発言があった。

(4) 第95回全国花火競技大会雑踏警備の実施結果について

県警察から、第95回全国花火競技大会雑踏警備の実施結果に関する報告があった。
8月26日、第95回全国花火競技大会が開催され、全国から多くの観客が来県した。
会場内の人出は約9万人（主催者発表）で、当日は430人の警察官等が雑踏警備に従事し、猛暑の中、無事完遂したとのことであった。

委員から、「路上駐車は交通事故や渋滞につながるので、来年に向けて対策をとっていただきたい」との発言があった。

(5) 令和5年上半期の行方不明者の取扱状況について（暫定値）

県警察から、令和5年上半期の行方不明者の取扱状況に関する報告があった。
令和5年上半期の行方不明者の届出受理数は221人（前年同期比36人増加）で、高齢者及び認知症高齢者（認知症の疑いも含む。）とも増加傾向にあるとのことであった。

委員から、「行方不明者には様々な事情があり、多岐にわたる対応となるが、一人でも多く、無事に発見していただきたい。」との発言があった。

(6) 「第32回暴力団壊滅秋田県民大会」の開催について

県警察から、「第32回暴力団壊滅秋田県民大会」の開催に関する報告があった。
9月4日、あきた芸術劇場ミルハスにおいて、「第32回暴力団壊滅秋田県民大会」が開催される。
大会では、「暴力団が存在しない安全で安心して暮らせる秋田」を目指し、県民、事業者、関係機関・団体の連携と社会が一体となった暴力団排除意識の一層の強化・高揚を図るとのことであった。

委員から、「大会の開催を通じ、暴力団壊滅の気運を盛り上げていただきたい。」との発言があった。